

1学期が終わりました

本日、1学期の終業式となりました。ここ数週間、新型コロナウイルス感染者数の急増で大変心配しておりましたが、学級閉鎖等の対応を取ることもなく夏休みに入ることができました。健康管理については、ご家庭でもご配慮いただきありがとうございました。

さて、コロナ禍ではありますが、市中体連大会に続いて、先週から県中体連大会も行われています。本校生徒も、卓球、ラグビー、テニス、水泳の4競技に出場しています。結果については安心メールでお知らせしているところですが、テニスは女子団体でみごと優勝し、団体とダブルス2組が九州大会への出場を決めています。また、明日23日に卓球女子が団体戦、ラグビーが3位決定戦に、25～26日の水泳は個人種目にエントリーしています。悔いを残さないよう、精一杯頑張ってください。そして、コーラス部もNHKコンクール、全日本合唱コンクールの県予選に出場します。体調管理に気をつけて臨んで欲しいです。

夏休みは長いですが、特に3年生にとっては、受験に向かうための大事な期間です。計画的に過ごしてください。

2学期の始業式、昨年のように分散登校でスタートとしないことを祈ります。

(右は、校長室にある優勝旗)

体育大会の思い出

体育大会後、しばらくして、文化伝統課の生徒十数名が校長室へやって来ました。課活動の一環で、かつての体育大会のことを私にインタビューしたいとのことでした。私も覚えている範囲で答えました。春の歓迎遠足の時から、3年生のリーダーが中心となって各団で動いていたこと。長縄跳び、棒引き、綱引き、組み体操、演舞、中長距離走、400mリレー、100m走など、たくさんの種目があり、先輩たちが競技のコツを丁寧に後輩たちに教えながら朝練夕練に励んでいたことなどを話しました。みんな興味深く話を聴いてくれました。そこで一つ気になっていたことを、私から生徒たちに尋ねました。「黄龍団に応援歌があるはず、シンガーソングライターが作ってくれた曲。今も残っているか？」みんな知りませんでした。

たしか、2003年度の体育大会です。黄龍団のリーダーがラジオのパーソナリティを務めていたaikoさんに応援歌の作成を依頼し、本当に実現した話です。「銀杏城の空の下、優勝目指して～♪～黄龍団」短いフレーズでしたが、体育大会でも歌いましたし、その行動力に驚いた記憶があります。生徒はaikoという名前は知っているらしく、びっくりしていました。

さて、話を戻して、最後に生徒からの質問がありました。体育大会の内容は変わってきているが、変わらないものはありますか？さすが、附中生です。私が言いたかったことを察したのか、鋭い質問です。変わらないのは、みんなが体育大会に取り組む姿勢、学年や学級を超えた一体感を味わえることだと答えました。この生徒たちなら、きっと新しい伝統を創り上げてくれるでしょう。

学校だより
第7号
楓の木

2022. 7. 22

熊本大学教育学部

附属中学校

(文責 山本)

